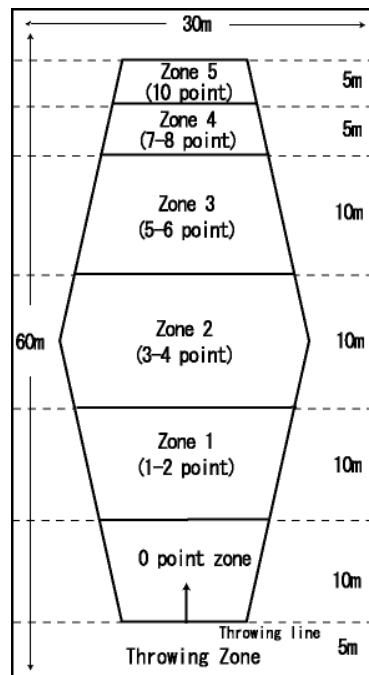


# 人間ディスクドッグ・ルール

- チーム編成は最大4人  
1人はスローワー、3人はランナー&キャッチャー
- 競技時間は60秒
- ディスクをキャッチした場所で得点が決まります。(右図参照)



## 競技の始まり

4人ともスタートラインに立ちオフィシャルの「Ready Go！」の掛け声でスタートです。

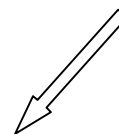
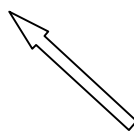
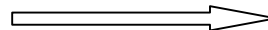
競技がスタートしたらランナー&キャッチャーはコートに走り出し、スローワーが投げたディスクをキャッチし、走ってスローワーにディスクを返す。返ったディスクをスローワーはまた投げる、コートにいるキャッチャーがディスクをキャッチし走ってスローワーにディスクを返すと言った事の繰り返しでポイントを重ねます。コートを上から見るとダイヤモンドの形でその中でキャッチをして競技時間内に何ポイント上げられるかを競います。

その際ディスクがキャッチ前に地面に着いたり、キャッチャーが空中キャッチはしたがコートのポイントエリア外だった場合はポイントとは認められません。

## >>>競技の流れ



Ready GO! でスタート



## 得点と勝ち負け

スローワーの投げたディスクを空中でキャッチすると得点が認められます。

キャッチしたエリアによってポイントが決まります。

キャッチャーのどちらかの足が地面に着いた状態でキャッチすることをランニング・キャッチ、

2本とも空中に浮いた上体でキャッチすることをジャンピング・キャッチといいます。

ジャンピング・キャッチはランニング・キャッチ + 1ポイントとなります。(ポイントエリアとポイントは右上図参照)

予選ラウンドとして、1分間の競技を2ラウンド(合計2分)行います。

2ラウンド合計得点で多いチームによって決勝ラウンドを行います。(決勝進出チーム数は未定)

1R + 2R + 決勝 R の合計得点の最も多かったチームが1位となります。